

平成25年3月9日

救助ロープ取扱い訓練

深川消防団

ロープの取扱要領及び保管、点検等

1 ロープの取扱要領

- (1) 踏みつけたり、ロープに腰をおろさない。
- (2) 引きずったり、長時間日光にさらさない。
- (3) 柱、窓枠、壁その他角部に直接ロープが当たる場合には、必ず当て布をする。
- (4) ロープとロープを摩擦させない。
- (5) キンクを作らない。
- (6) 長時間ロープを張った状態にしておかない。

2 保管

- (1) 紫外線、直射日光があたらない場所に保管すること。
- (2) 通風を考えて、むれのないようにて適宜、換気をする事。
- (3) 湿気を避け、適度に乾燥させておくこと。
- (4) 変質や変形を与えるような状態にしないこと。
- (5) 直接床や地面におかないで、たな等に置くこと。

3 点検

- (1) 切損箇所の有無。
- (2) 型崩れ箇所の有無
- (3) 乾燥の状況
- (4) 端末処理の状況。

4 整備

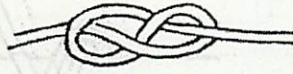
- (1) 濡れたロープは、必ず乾燥させる。
- (2) 汚物、異物等をきれいに除去すること。
- (3) 油脂、薬品により汚れた箇所は、その部分は切断除去して端末は焼止めする。

基本結索要領

ア とめ結び



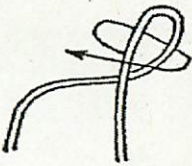
(a)



(b)

滑車や孔からロープの脱落するものを防止したり、切断したロープの端からよりが戻るのを一時的に防ぐ等にする。

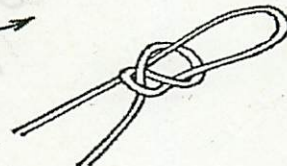
イ 8の字結び



(a)



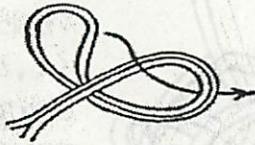
(b)



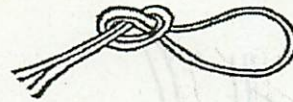
(c)

樹木や、フックなどに引掛け、更にロープを締める場合などに用いる。

ウ フェーラー結び

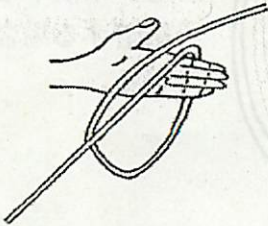


(a)

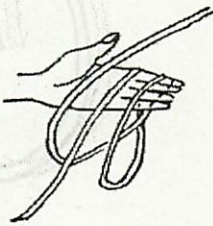


(b)

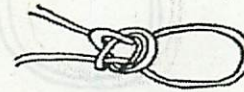
エ ちょう結び



(a)



(b)



(c)

ロープの中間に輪を作る必要のあるとき用いる

オ 二重もやい結び



(a)



(b)



(c)

ロープの中間に輪をつくる場合、要救助者の救出等に用いる。

カ 三重もやい結び

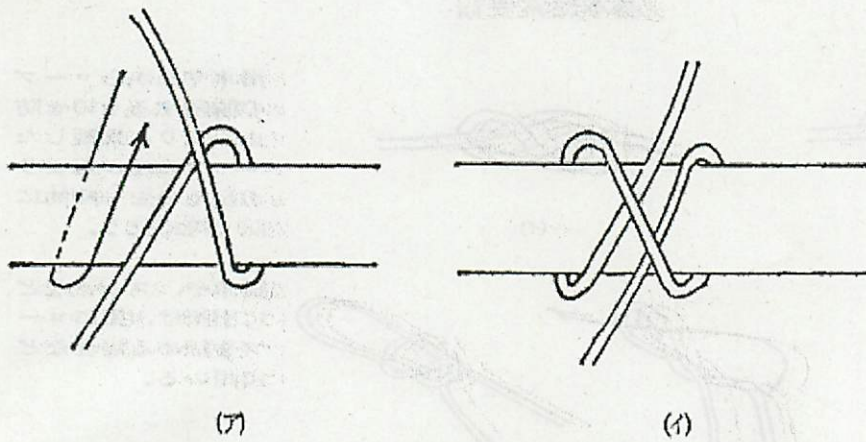


(a)



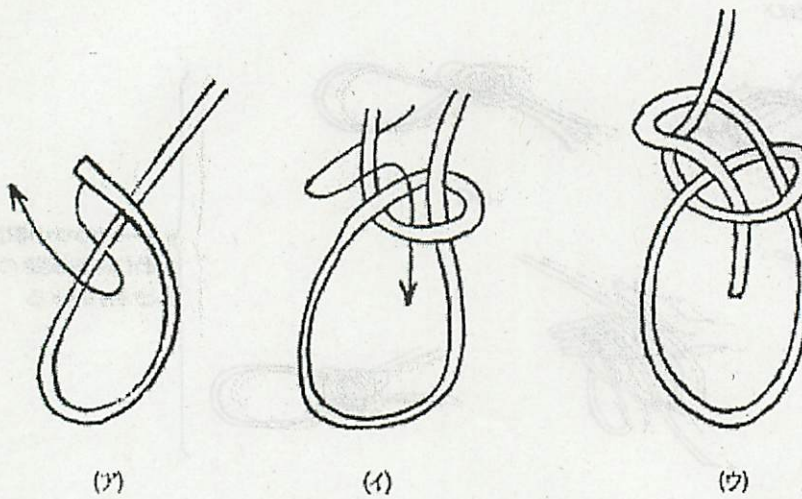
(b)

ア 巻結び



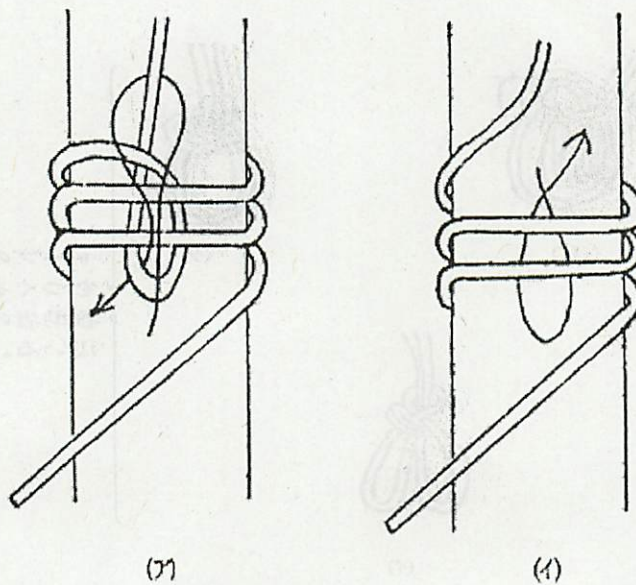
ロープの末端や途中で、物にけい留する場合に用いる。

イ もやい結び



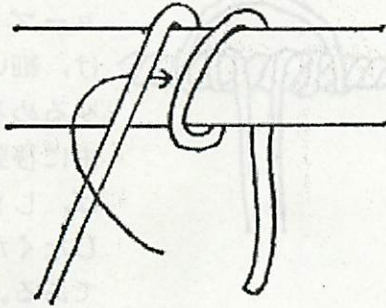
ロープの太さにかかわらず結びやすく、ときやすい結び方であり、确实安全な方法で人あるいは樹木などに結着する場合に用いる。

ウ コイル巻もやい結び

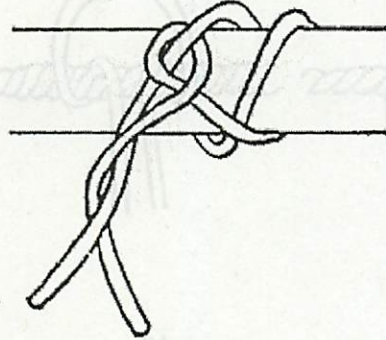


負傷者等の救出又は落下訓練のような衝撃の強い訓練に、身体に与える苦痛を緩和するために用いる。

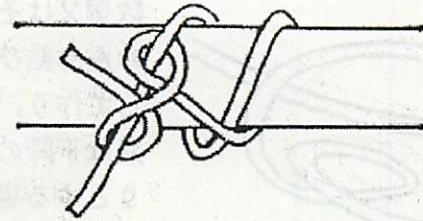
エ 二回り二結び



(ア)



(イ)



(ウ)

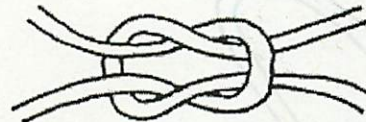
ロープの末端や途中で物にけい留する場合に用いる。

(3) 接合(ロープの両端又は2本のロープを結び合わせるもの)

ア 本結び



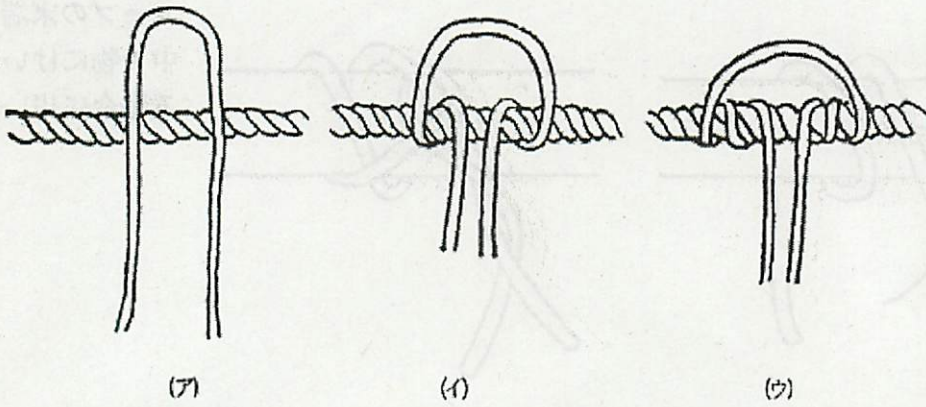
(ア)



(イ)

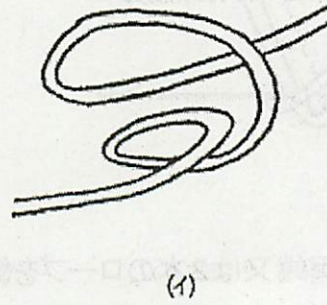
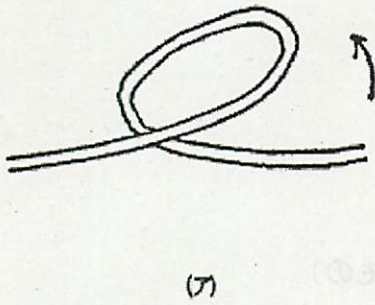
同じ太さのロープを結び合わせるのに適しているが、太さ又は、材質の違うものには不適である。

ア プルージック結び

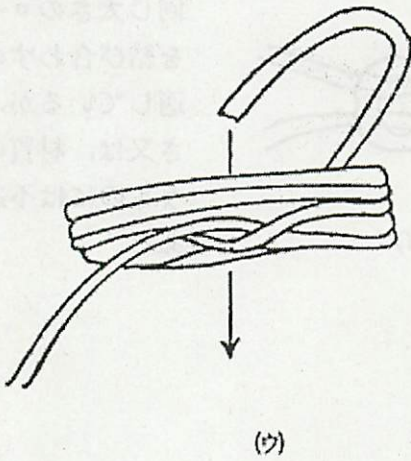


太いロープに細いロープを結び付け、細いロープをゆるめるときは自由に移動し、張れば、しまつて移動しなくなる結び方である。

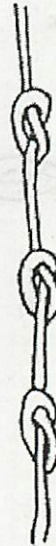
イ 節結び



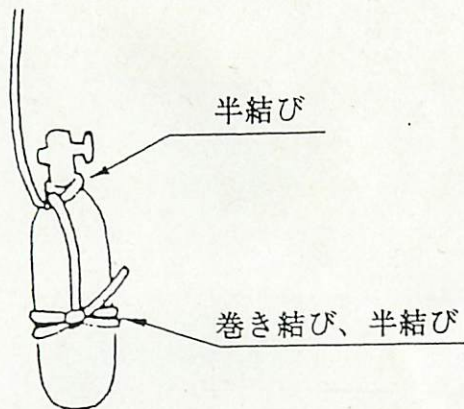
数個又はそれ以上の止め結びを連続して作り、登はん又は下降の手がかりとする場合に用いる。



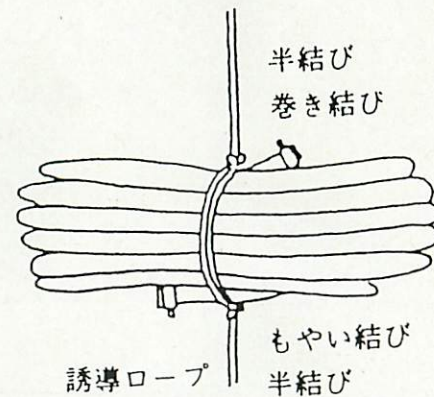
(エ)



- ボンベ吊り上げ
ボンベに毛布等を巻いて結着する。



- ホース吊り上げ
足の上に管そうをのせ結着を容易にする。



- とび口吊り上げ
足の上にとび口をのせ結着を容易にする。

